

第1号～第20号 総 目 次

創刊号

- 情報と情報財に対する権利 郷 成思(鈴木 賢・坂口一成) 3
判断機関分化の調整原理としての包袋禁反言の法理 田村 善之 11
最近の裁判例にみる禁反言の研究:新版 田 広志 41
パテント・プールの独禁法上の違法性とその効力

- アルゼ株式会社対日本電動式遊技機特許株式会社・特許実施料返還請求
事件への鑑定意見書— 吉田 克己 93
日本の医薬品産業と研究開発 —競争政策の観点から— 稚貫 俊文 133
特許法における属地主義の原則の限界 梶野 篤志 159

第2号

- 包括的クロスライセンスと職務発明の補償金額の算定 田村 善之 1
知的財産法における属地主義の原則
—抵触法上の位置づけを中心に 横溝 大 17
カードリーダ事件最高裁判決の理論的考察 駒田 泰土 43
複数主体が特許発明を実施する場合の規律
—いわゆる共同直接侵害について— 梶野 篤志 63
著作物利用のための手段を提供する者に対する差止め 佐藤 豊 77
米国における均等論制限理論：“Dedication Rule”について

- Johnson & Johnston v. R. E. Service 事件を中心に— 田口 哲久 93
音楽著作物の類似性の範囲について —記念樹事件— 松本 有啓 121
ソフトウェアの表示画面について著作権侵害を否定した事例
—PIM ソフトウェア事件— 小林 基子 135

第3号

- Theory of Intellectual Property Law 田村善之(城山康文) 1
<競争的繁栄>と知的財産法原理 —田村善之教授の知的財産法理論の
基礎に関する法哲学的検討— 長谷川 晃 17
知的財産関連産業と知的財産の国際化：独占促進と開発阻害?
..... Peter DRAHOS(立花市子) 35
Intellectual Property Industries and the Globalization of Intellectual Property:
Pro-Monopoly and Anti-Development? Peter DRAHOS 65
著作権の制限と「クリックラップ」ライセンス：著作権取引はどうなるのか?
..... Lucie GUIBAULT(会沢 恒) 91
権利管理システムのためのフェアユース・インフラストラクチャ
..... Dan L. BURK & Julie E. COHEN(会沢 恒) 131

契約と技術による著作権の拡張に関する日本法の状況			
—ギボー報告およびパーク報告に対するコメント—	曾野 裕夫	185	
冒認出願と眞の権利者保護	松田 竜	195	
建築の著作物と同一性保持権	才原 慶道	217	
第4号			
国際化、現代化及び法典化—中国知的財産権制度発展の道—	吳 漢東(鈴木 賢・金 勲)	1	
Internationalization, Modernization, and Codification:			
The Way of China Intellectual Property Development	WU Handong	17	
WTO 加盟後の中国著作権戦略についての分析	胡 開忠(鈴木 賢・金 勲)	33	
Analysis of China's Copyright Strategies After its Entry into WTO	HU Kaizhong	49	
中国著作権法における職務著作について	彭 涛(鈴木 賢・金 勲)	65	
On the Perfection of 'Work Made for Hire' Under Chinese Copyright Law	PENG Tao	77	
強力な知的財産法は、経済成長の鍵となるか—米国における知的財産法と サイバー法の最近の推移—	Edward G. DURNEY(渡部俊英)	87	
Are Strong Intellectual Property Laws a Key to Economic Growth?			
Recent Developments in Intellectual Property Law and Cyberlaw in the United States—	Edward G. DURNEY	133	
インクの詰め替えと商標権侵害の成否—リソグラフ事件—	田村 善之	175	
職務著作における雇用契約の存否判断			
—RGB アドベンチャー事件—	村井麻衣子	189	
第5号			
職務発明に関する抵触法上の課題	田村 善之	1	
職務著作の準拠法	駒田 泰土	29	
著作権譲渡及び職務著作を巡る国際的法適用関係	稻垣 佳典	51	
著作者人格権とマルチメディア	Philippe GAUDRAT(横溝 大)	69	
フランスの著作財産権とデジタルの諸問題	Stephane GREGOIRE(瀬川信久)	129	
特許権の用尽存否の判断基準	倉内 義朗	153	
ビデオソフトの中古販売につき頒布権侵害が否定された事例	佐藤 豊	173	
第6号			
キリングフィールド—知的財産と遺伝子制御技術—			
Stephen HUBICKI & Brad SHERMAN(石井純一)	1		
修理や部品の取替えと特許権侵害の成否	田村 善之	33	
用尽とは何か—契約、専用品、そして修理と再生産を通して—	田 広志	71	
中国地方政府の特許業務の動態	楊 和義(前原 洋)	121	
中国地方政府專利工作動態	楊 和義	141	
著作権市場の生成と fair use			
—Texaco 判決を端緒として—(一)	村井麻衣子	155	
実用品に付されるデザインの美術著作物該当性(一)	劉 曉倩	189	
第7号			
複数の侵害者が特許侵害製品の流通に関与した場合の 損害賠償額の算定について	田村 善之	1	
医薬品特許と強制実施—HIV/AIDS 問題を中心に—	朴 栄吉(李 妍淑)	35	
WTO/TRIPS 協定の台湾知的財産法制度への影響	謝 銘洋(前原 洋)	69	
21世紀における知的財産権の法哲学的考察			
—知的財産権制度の再構築の視点から—	曹 新明(前原 洋)	87	
東アジアの知的財産権について—その理念・現状・戦略—	稗貫 俊文	103	
特許を受ける権利等の共有者による審決取消訴訟	才原 慶道	121	
著作権市場の生成と fair use —Texaco 判決を端緒として—(二・完)	村井麻衣子	139	
実用品に付されるデザインの美術著作物該当性(二・完)	劉 曉倩	177	
地域ブランドについて不正競争防止法の周知表示として 保護が認められた事例—三輪素麺事件	久木田百香	201	
第8号			
青色発光ダイオード事件控訴審和解勧告について			
一職務発明に対する補償金額の算定のあり方—	田村 善之	1	
先住民族の文化と知的財産の国際的保障	常本 照樹	13	
遺伝資源及び伝統的知識の出所開示に関する一考察	田上麻衣子	59	
伝統的知識等に関する法整備への先住民及び 地域共同体の参加について	青柳 由香	95	
オーストラリアにおける学術著作物の帰属	Leanne WISEMAN(渡部俊英)	113	
多機能型間接侵害についての問題提起			
—最近の裁判例を題材に—	田 広志	147	
職務著作における「法人等の業務に従事する者」			
—グリーン・グリーン事件—	津幡 笑	189	
第9号			
日本のバイオテクノロジー産業と競争政策			
—リサーチツール特許のライセンス問題—	稗貫 俊文	1	
特許対象の再編成と財産権主義の台頭—ビジネス方法の特許適格性			
—	Nari LEE(田村善之・津幡 笑)	23	
FRED PERRY 最高裁判決にみる商標機能論	立花 市子	71	

並行輸入と商標権侵害の成否—内外拡布者一体性の要件の射程—

.....	石上千哉子	97
知的財産権の侵害警告と「正当な権利行使」—近時の裁判例について—	瀬川 信久	111
著作権ライセンス契約におけるライセンサーの地位の保護のあり方	曾野 裕夫	135
		第10号
著作権の考え方	William M. LANDES & Richard A. POSNER(山根崇邦)	1
抽象化するバイオテクノロジーと特許制度のあり方(1)	田村 善之	49
冒認に関する考察～特に平成13年最高裁判決と平成14年東京地裁判決の関係をめぐって～	田 広志	67
冒認特許に関する一考察—営業秘密法の観点から—	解 亘	103
取消訴訟における審理の範囲と判決の拘束力		
—審決取消訴訟からの示唆—	村上 裕章	145
中国における特許審決取消訴訟の基本構造—日本との比較	魯 鵬宇	173
欧州共同体意匠規則—市場指向型デザイン保護システムの概要とその後の進展	青木 博通	189
CBD・Akwé: Kon ガイドラインについて	田上麻衣子	215
【翻訳】Akwé: Kon 任意ガイドライン	青柳由香・田上麻衣子(訳)	221
アクセス可能な著作物に対する公衆の利用の自由		
一はたらくじどうしや事件	村井麻衣子	247
		第11号
INTELLECTUAL PROPERTY	Wendy J. GORDON(田辺英幸)	1
欧州における著作権とP2P	P. Bernt HUGENHOLTZ(渡部俊英)	43
MGMは本当にGrokster事件で勝訴したか	Pamela SAMUELSON(津幡 笑)	53
抽象化するバイオテクノロジーと特許制度のあり方(2)	田村 善之	65
標準化技術に関する特許とアンチ・コモンズの悲劇	Nari LEE(田村 善之・立花 市子)	85
特許法104条の3を考える	高部眞規子	123
著作物と作品概念との異同について	駒田 泰土	145
デジタル環境における情報取引	小島 立	163
Information Transactions in a Digital Environment: From the Perspective of Intellectual Property Law	Ryu KOJIMA	185
競業避止義務制約の法理	道幸 哲也	205
人材派遣業において不正競争防止法2条1項1号の周知性が否定された事例		
—プロフェッショナルバンク事件	川村明日香	231

第12号

特許権行使と特許訴訟における損害賠償額の算定について		
—ドイツを例として	Heinz GODDAR(城山康文)	1
中国知的財産権の保護水準の現状分析	胡 開忠(石上千哉子)	21
知的財産権の観念について：法定主義及びその適用	李 揚(金 熱)	35
抽象化するバイオテクノロジーと特許制度のあり方(3・完)	田村 善之	91
国際規範としての無方式主義が及ぶ範囲	菱沼 剛	115
ドイツ法におけるライセンサーの保護	駒田 泰土	141
生物多様性条約(CBD)とTRIPS協定の整合性をめぐって	田上麻衣子	163
抵触法における不正競争行為の取扱い—サンゴ砂事件判決を契機として		
.....	横溝 大	185
プロダクト・バイ・プロセス・クレームの特許適格性と技術的範囲(1)		
.....	田 広志	241
表示についての使用許諾関係の誤信と「混同のおそれ」		
—ラ ヴォーグ南青山事件—	才原 慶道	301
無効審判請求不成立審決の取消訴訟係属中に訂正審決が確定した場合の審決取消		
訴訟の帰趨—建築物の骨組構築方法事件—	山根 崇邦	321

第13号

使用者・従業者関係における知的財産の帰属に関する比較検討		
.....	Kamal PURI(青柳由香)	1
先住民の知的財産保護における哲学的文脈	長谷川 晃	27
伝統的知識と遺伝資源の保護の根柢と知的財産法制度	田村 善之	53
規範的損害と保険—知的財産権侵害に即して—	山本 哲生	71
中国商標法における先使用権の知的財産法的解釈	李 揚(徐 海峰)	101
プロダクト・バイ・プロセス・クレームの特許適格性と技術的範囲(2・完)		
.....	田 広志	131
商標法38条1項の適用の可否と複数侵害者間の損害賠償請求権の関係		

—メープルシロップ事件—	高橋 司	171
特許侵害訴訟において先使用権を援用しうる者の範囲		
—移載装置事件—	村井麻衣子	213

第14号

宗教団体の名称使用権をめぐって	五十嵐 清	1
特許法における政策レバー(1)		
.....	Dan L. BURK, Mark A. LEMLEY(山崎 昇)	45
効果的な特許制度に関する多元的理論の試み(1)	Nari LEE(田村善之)	113
著作権の「間接侵害」と差止請求	吉田 克己	143
営業秘密における秘密管理性要件	津幡 笑	191

営業秘密の保護と秘密管理性—人工衛事件—	小嶋 崇弘	215
Ending is better than Mending 一修理、詰替および再利用に関する近年の日本の 判例について—	クリストファー・ヒース(毛利峰子)	241
著作権の登録による権利の帰属に關わる一応の推定	菱沼 剛	257
知的財産信託の構造と課題	小坂 準記	281
フォークロア作品における共同体著作者の概念を放棄せよ —鳥蘇里船歌(ウースーリ川舟歌)事件—	李 揚(劉 曉倩)	329
従業者が作成した著作物の利用関係が争われる事例における「公表名義」 要件の意義—講習資料職務著作事件—	藤野 忠	355

第15号

国際的な知的財産権制度におけるハーモナイゼーションに抵抗する 5つの傾向について	Peter K. YU(田村 善之・村井麻衣子)	1
特許法における政策レバー(2・完)	Dan L. BURK and Mark A. LEMLEY(山崎 昇)	53
効果的な特許制度に関する多元的理論の試み(2・完)	Nari LEE(田村善之)	137
多機能型間接侵害制度による本質的部分の保護の適否 —均等論との整合性—	田村 善之	167
「テレビ放送をインターネット回線を経由して視聴するシステム」を使用する ための設備提供の是非—まねき TV 事件—	佐藤 豊	241
中国におけるコンピュータプログラムに関する発明の専利保護の新発展	余翔・劉珊(石上千哉子)	277
孤児著作物問題を巡る議論について—認識された論点、提案された 解決策および残された問題点	菱沼 剛	299
模写における創作性の判断基準 一豆腐屋事件—	村井麻衣子	341
著作物の題号と同一構成の商標が公序良俗に反し無効とされた事例 —Anne of Green Gables 事件—	松原 洋平	371

第16号

欧州の法における共有特許権者の地位について	クリストファー・ヒース(立花市子)	1
国際的な囲い込みの動きについて(1)	Peter K. YU(青柳由香)	31
検索サイトをめぐる著作権法上の諸問題(1) —寄与侵害、間接侵害、フェア・ユース、引用等—	田村 善之	73
特許法において開示要件(実施可能要件・サポート要件)が果たす役割	潮海 久雄	131
用途発明に関する特許権の差止請求権のあり方 —「物」に着目した判断から「者」に着目した判断へ—	・田 広志	167
特許無効審判における一事不再理	飯島 歩	247

韓国の著作権集中管理制度の現状と問題点

一日韓の音楽著作権産業の比較を中心に—	張 睿暉	289
商品等の立体的形状に関する商標法3条2項の適用 —「ひよ子」立体商標登録審決取消請求事件—	劉 曉倩	311
ベルギー著作権契約法	Frank GOTZEN(戸波美代)	1
国際的な囲い込みの動きについて(2)	Peter K. YU(青柳由香)	19
政策という観点からみた知的財産権の性質の研究 —TRIPs序文を起点として—	肖 志遠(劉 曉倩)	37
検索サイトをめぐる著作権法上の諸問題(2) 一寄与侵害、間接侵害、 フェア・ユース、引用等—	田村 善之	79
第三者によりBBS上になされた書き込みについてBBS管理者の著作権侵害責任が 認められた事例—2ちゃんねる小学館事件—	高瀬 亜富	125
長編連載漫画における原作者の権利範囲と著作権法28条 —キャンディ・キャンディ事件—	渡 文雄	163
被写体の行動を揶揄・批評するための写真の引用の可否 —創価学会写真ウェブ掲載事件—	平澤 卓人	183

第18号

国際的な囲い込みの動きについて(3)	Peter K. YU(青柳由香)	1
検索サイトをめぐる著作権法上の諸問題(3・完) 一寄与侵害、間接侵害、 フェア・ユース、引用等—	田村 善之	31
米国特許法における国内消尽論 —条件付売買と価格差別論の適用を中心に—	羅 秀培	69
特許発明の実施品であるインクタンクの使用済み品を用いて製造された 再生品について特許権に基づく権利行使をすることの許否		
—インクカートリッジ事件—	酒迎 明洋	105

内部分裂と不正競争防止法2条1項1号の請求権者	才原 慶道	181
職務発明を巡る国際的法適用関係	横溝 大	201
著作権侵害が認められない場合における一般不法行為の成否 —通勤大学法律コース事件—	山根 崇邦	221

第19号

伝達方法(コミュニケーション)からモノへ 一商標の財産権としての 概念化の史的侧面—	Lionel BENTLY(大友信秀)	1
国際的な囲い込みの動きについて(4・完)	Peter K. YU(青柳由香)	51
非専用品型間接侵害(特許法101条2号、5号)の問題点	三村 量一	85
グローバル経済におけるコンピュータプログラム特許の断片的侵害	Nari LEE(丹澤一成)	115

伝統的知識と遺伝資源の保護の根拠と知的財産法制度・再論	田村 善之	157
遺伝資源及び伝統的知識をめぐる議論の調和点	田上麻衣子	167
先住民の創作物の著作権による保護—今後の課題		
.....	Brad SHERMAN and Leanne WISEMAN(鈴木將文)	191
ニュージーランドにおけるマオリの知的財産の保護		
.....	Tania WAIKATO(田上麻衣子)	221
時間、労働と生態—先住民の財産権の核心的テーマ		
.....	黄 居正(坂口一成)	243
「属地主義」の光と影	陳 一	285
著作権集中管理団体の注意義務	李 海青	291
著作隣接権譲渡契約の締結後に法定された支分権の帰属		
—レコード原盤音源送信可能化権確認請求事件—	藤野 忠	313
第20号		
知的財産法政策学の試み	田村 善之	1
著作物の保護及びP2P ソフトウェア 一リーガル・オプション、そのいずれを選択すべきか?—	Mark DAVISON and Rebecca Giblin-CHEN(山崎 昇)	37
国際的知的財産権侵害における問題点	田 広志	57
ソフトウェア関連発明における自然法則利用性の評価について		
一回路シミュレーション方法事件判決を端緒とした検討	平嶋 竜太	65
韓国ソフトウェア特許の現状と課題		
.....	丁 相朝(李京林・李海青・李京・金起弘・河有貞)	95
特許の国際的保護のための政府間協力について	高倉 成男	153
最近の知的財産制度を巡る国際動向について	鈴木 將文	169
不当な特許権行使—侵害警告と侵害後の無効化との比較法的考察—		
.....	クリストファー・ヒース(城山 康文)	183
商標の逆混同の理論について—「藍色風暴(青色の嵐)」商標権侵害事件—		
.....	彭 学龍(劉 曉倩)	203
普通名称性の立証とアンケート調査—アメリカでの議論を素材に—		
.....	井上由里子	235
真の発明者の認定—細粒核事件—	山根 崇邦・時井 真	265
最高数量制限と OEM 製造委託義務の独禁法上の評価		
一日之出水道機器知財高裁判決	青柳 由香	299